

三菱電機トータルセキュリティソリューションの推進



市毛正行*



佐々木和則**



朝日宣雄***

Total Security Solution by Mitsubishi Electric

Masayuki Ichige, Kazumori Sasaki, Nobuo Asahi

要 旨

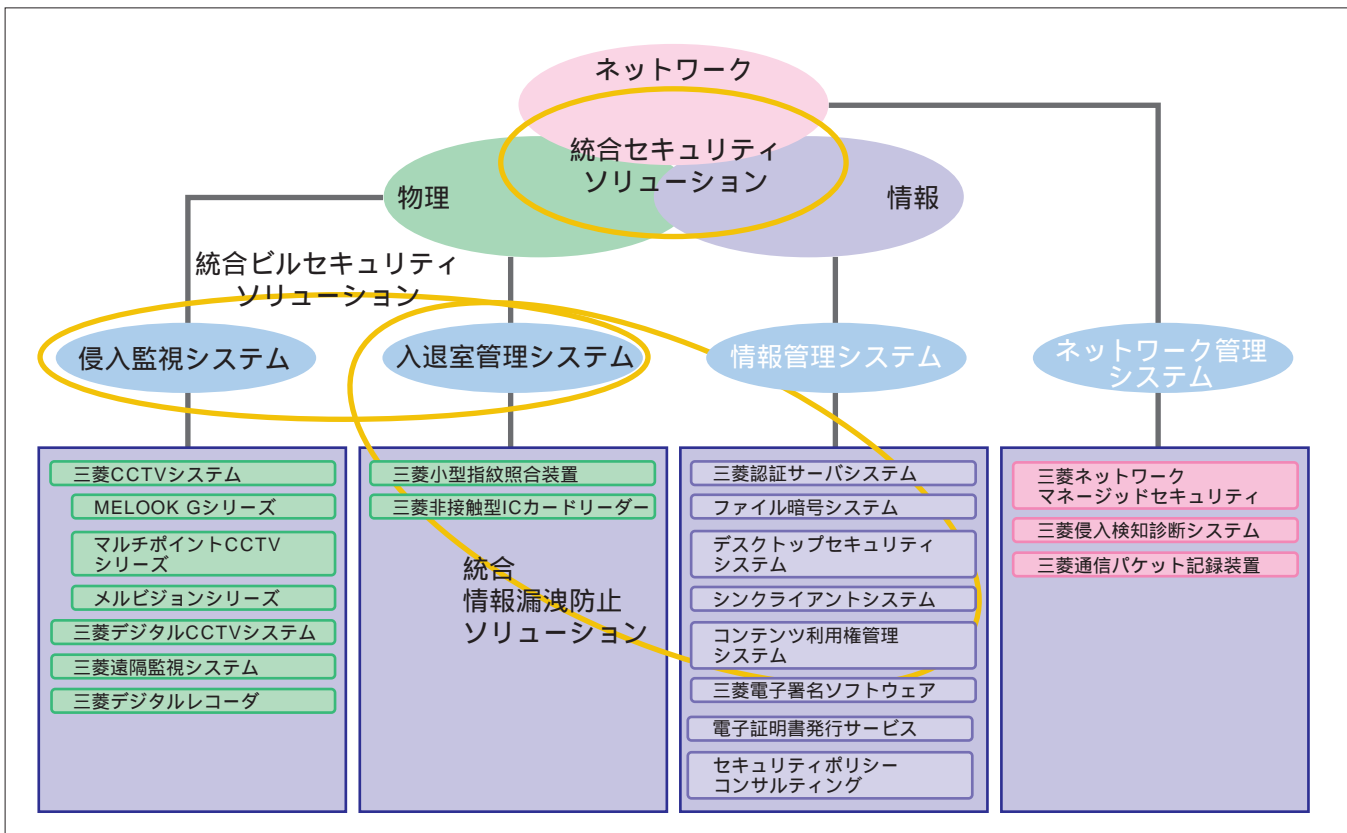
1990年代半ばから急速に普及したインターネットにより、組織を越えて流通及び共有される情報の量が飛躍的に増加し、その反面、機密情報の漏洩(ろうえい)が深刻な問題となってきた。また、侵入・盗難事件、商店街・学校などでの犯罪も年々増加しており、特に米国での同時多発テロ事件以降急激にセキュリティシステムへのニーズが高まっている。これらに対応した侵入・不審者監視システムへの取り組みも重要な課題となっている。

情報漏洩の防止や侵入・盗難などのセキュリティリスクへの対応には、出入口からの侵入防止、ネットワークからの侵入防止、及び、内部・関係者による犯罪・不正の防止という3つの側面からの防止策を講じるとともに、特に、情報系においては、設定・操作ミスなどのヒューマンエラーによる被害を最小限に食い止めるための仕組みも考慮す

べきである。

これらのセキュリティ対策は、従来個別のシステム導入にとどまっていたが、業務効率を低下させずにセキュリティホールを最小限に押さえ込むためには、体系的な導入が必要である。三菱電機グループでは、このようなセキュリティリスクへの対応を支援するため、従来から取り組んできた情報セキュリティ及び物理セキュリティの各システムを体系化し、新しい時代のトータルなセキュリティソリューションとして提案している。

三菱電機技報2004年4月号⁽¹⁾ではこのうち情報セキュリティソリューションに焦点を当てた特集として様々な技術を紹介したが、今回の特集では、物理セキュリティソリューションとそのインテグレーションに焦点を当て、最新の技術動向を紹介する。



三菱電機のトータルセキュリティ体系

侵入監視システム、入退室管理システム、情報管理システム、ネットワーク管理システムにより、物理系・情報系の両面からセキュリティリスクへ対処する。効率的にセキュリティを管理するためには、体系的な統合ソリューションが望まれる。ビルの監視制御と出入管理を中心に統合する“統合ビルセキュリティソリューション”，工場のような広いエリアのあらゆるセキュリティ管理を統合する“統合セキュリティソリューション”，また、情報の漏洩防止を物理系・情報系の両面から統一的に管理することを可能とする“統合情報漏洩防止ソリューション”などが統合ソリューションの例である。